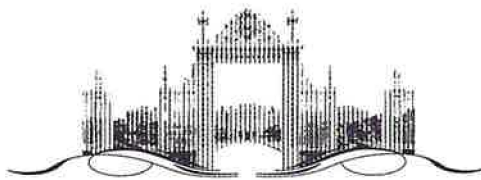




Rotary International
ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心
2007～2008 年度
国際ロータリーテーマ:ウィルフリッド J.ウィルキンソン会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.968 / 2007.9.21

例会 / 毎週金曜日12:30
例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111
事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8
赤坂2丁目アネックス3F
Tel 03-3505-5976
Fax 03-3505-6004
akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp
http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「助けよう友の輪、分かちあおう喜びを！」

2007～2008年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 小原健会長

●本日の例会 / 2007年9月21日

第991回例会・夜間例会

◎卓話:『フルート演奏とトーク』

フルート奏者 Nikkos Bifaro Vincenzo 氏
(ニコス ビファロ ヴィンチエンソ)

—●先週報告 / 2007年9月14日 第990回例会—

ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会

テーマ『国際奉仕と社会奉仕活動
について』

来賓

千代田グループガバナー補佐
大日方 真 氏 (東京赤坂 RC)
千代田グループグループ幹事
村山 公士 氏 (東京赤坂 RC)



出席報告:

会員54名 / 出席30名・欠席24名 (出席規定免除者5名)
ビジター / 興津成實 (門真 RC)、菅野谷純正 (東京大森 RC) 計2名 (敬称略)
ゲスト / 千代田グループガバナー補佐 大日方真、千代田グループグループ幹事 村山公士 計2名 (敬称略)



9月14日 / 11件 25,000円 / 本年度累計248,400円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

小原健 / 小林さん、始めてのお勤めご苦労様です。荒木昭文 / ガバナー補佐大日方さん、グループ幹事村山さんの公式訪問を歓迎して。實藤政子 / はじめてのニコニコです。馬場先生、出席率上げるようがんばります。山川政樹 / 新人を大事にしていると新しい会員が増えるとのこと。よろしく。西澤民夫 / 小林さん、ニコニコ御苦労様です。武下朗 / 入会始めての小林さんにニコニコです。尾上寛 / 小林さんの初ニコニコを祝して。清水寛 / 小林さん、ニコニコ御苦労様。明後日16日秩父宮日英対抗ラグビーで (早稲田対ケンブリッジ) ピッチで120名程で歌を唄います。石井謙次 / 岩上さん先日写真ありがとうございます。小林さんニコニコご苦労様。松永秀和 / 日曜日 (16日) 能「経政 (つねまさ)」のシテを勤めます。入沢さんが地方 (ジカタ) で謡 (うた) ってくれます。受付にパンフレットがあります。小林さんニコニコご苦労様です。小林博茂 / ヨチヨチのシンデレラボーイをよろしくお願いします。

2007年9月定例理事会議事録

日時 2007年9月7日(金) 例会後 13:40 ~ 15:00
場所 ANAインターコンチネンタルホテル東京 1F かすみ
出席者 小原、荒木、村山、松永、椎名、福島、岩上、石井、西澤、四分一、二宮、田村、尾上 (敬称略)

決議事項

1. ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会 (9/14) 次第を承認
・姉妹クラブについては、パシフィックベイスン地区の姉妹クラブ問題とは別の候補を考えてみる。
・今後の奉仕活動のテーマについて、活動歴の長い会員から発言してもらう。
2. 8月22日(水) 赤坂高校訪問 (インターンシップに関する会議) をメイクアップ対象とする件を承認。大日方会員、村山会員、荒木会員、西澤 (民) 会員、内田会員の5名が該当。
3. 例会食事のアンケートをもとに、SAA 委員会で検討することを承認。メニュー表、カロリー表についてはアンケートでは要望は少ないが、イメージが湧かないため意見が述べにくいことも考えられるので、ともかくトライし、反応を聞くことも含め、SAA で検討する。
4. 實藤政子会員を会員増強委員会所属とすることを承認

報告事項

1. 10月16日(火) カメリアヒルズカントリークラブにて、麻布 RC と合同ゴルフを開催。
2. 10月12日卓話、10月19日卓話は、職業奉仕委員会とのプログラムとする。
3. 11月火曜会は二宮会員の音頭により、日本酒の利き酒をテーマに、プロントで18:30より開催 (ホテルでの火曜会ではないので注意)。おみやげは出さず、資金は利き酒の充実に向ける。
4. 小原会長より、9月6日開催のグループ協議会の結果報告
① 来年3月の地区大会は3月28日だけとなる模様 (27日は前夜祭)。
② 交換学生支援のための人頭拠出金は、来年以降も続く見込み。
③ 赤坂高校のインターンシップは、南クラブの協力があまり期待できず、赤坂がかなり引き受けなくてはならない見通し。
5. 岩上幹事より、9月5日開催の東京南 RC との合同例会にともなう打ち合わせ会の報告。当日の体制につき、十分準備が必要。

●次週予告 / 2007年9月28日 第992回例会

イニシエーションスピーチ

当クラブ会員 内田 憲三 君

(日本オイルポンプ株式会社 代表取締役)

ガバナー補佐公式訪問第3回クラブ協議会

日 付: 2007年9月14日(金) 13:10~14:30

テーマ: 「国際奉仕と社会奉仕活動について」

出席者: 小原、岩上、荒木、尾上、椎名、渡部、橋本、飯島、清水、庄司、實藤、松永、松本、武下、馬場、柴本、石井、西澤(民)

以上18名(順不同、敬称略)

司 会: 岩上幹事

1. 来賓のご紹介: 小原会長より、大日方ガバナー補佐、村山グループ幹事をご紹介

2. 小原会長挨拶: 本日は、「国際奉仕と社会奉仕活動」をテーマに大日方ガバナー補佐と村山グループ幹事をお迎えし、グループ協議会を開催させていただきます。当クラブは、今までガバナー補佐公式訪問のグループ協議会では「職業奉仕」をテーマとしていることが多く、「国際奉仕と社会奉仕活動」については十何年ぶりとなります。職業奉仕はもちろんですが国際奉仕、社会奉仕もクラブに大切な活動であること、また長期的な目で考えていく機会として、今回テーマとさせていただきました。実の有る協議会となりますよう、またご多忙のところ長時間にわたり、ご協力お願い申し上げます。



3. 国際奉仕と社会奉仕活動について

(1) 国際奉仕活動について: 尾上委員長

【青少年交換委員会】

本年度当クラブ受入れ予定のドイツ人学生、カタリーナリービックさんでしたが、本人のアレルギー体質、特に動物の毛及び食事制限(肉・魚が駄目)という事で、とても責任を持って預かれないという当クラブの意見で今回は辞退いたしました。

しかしながら、当然、早ければ次年度村山会長の時に再度交換来日学生の受入れ要請が有ると思います。

【国際友好委員会】

地区国際友好委員会(国際親善委員会)より姉妹クラブ、友好クラブを他の国のクラブと締結・協定をし、国際親善・国際奉仕の実を上げる様にとの要請があり、それに基づき外国クラブの情報収集をしています。

【ロータリー財団】

年次寄付一人100ドル、目標40名/ベネファクター、ポールハリスフェロー、米山奨学1,000ドル各1名(会長、幹事、国際奉仕委員長)

【米山奨学による卓話】

11月2日例会にて米山奨学生による卓話の実施を予定しています。

以上本年度の事業計画

(2) 社会奉仕活動について: 西澤(民)委員長

社会奉仕委員会から本年度の活動についての確認と実績報告を行った。まず、活動基本方針として、「社会奉仕委員会の活動目的は委員会活動を通じて対内的には会員各位、対外的には多くの人達と感動、感謝及び喜びを分かち合い、学習し、会員各位の「奉仕の心」を高揚することにあると考える。」を再確認した。

あわせて、本年度具体的活動予定をいくつか述べた。

すなわち、①「風の子会」など港区福祉協議会関連団体との協力をする。②チャリティバザーの実施による社会協議会関連団体へ寄付をする。③アイメイト協会へ寄付をする。以上のものは淡々と例年通り実施することとする。



しかし、今年度の最大の事柄は、赤坂高校の生徒115名を2008年2月にインターンシップとして、関東近郊の会社へ送り込む。このためには第2750地区所轄クラブに協力を求める、と報告した。

その後、荒木地区インターンシップ委員に「インターンシップ受け入れについて」という題で、意見表明をいただき合わせて受け入れについての協力要請を受けた。意見交換において、インターンシップ受け入れの決定の経緯は如何あれ、既に決まってしまったこと、加えて2年後に閉鎖の決まっている赤坂高校最後の大イベントの一つで、生徒に一生忘れられない感動を与えたいという高校側の切なる希望に応えるためにも、当クラブで出来るだけのことはしたいとのことになった。地区にガバナー補佐を輩出している赤坂 RC としては、生徒の半数は受け入れられる企業を探し出すことが責務ではないかとの意見がでた。

次に渡部会員から「社会奉仕活動のあり方」ということで、意見表明をお願いした。

その後、意見交換があり、寄付だけに頼っていると「一人の視覚障害者が白い杖を5本も持っている。」など笑えぬ話の紹介などがあつた。

4. まとめ: 小原会長

皆様、長い時間に渡り真剣なご協議をありがとうございました。尾上委員長からは国際奉仕についての交換学生についての問題を詳細にご紹介いただきました。非常に重要な課題です。しかし、受け入れようということになると、難しい部分もでてくるため改めていかないと、広がりがないと思いました。馬場会員からは、姉妹クラブについて、はじめていくにあたって具体的なお話もあり大変参考になりました。西澤委員長からは最後の意見でインターンシップについて、決意を述べていただいた意義も大変深く浸透したのではないかと思います。是非、赤坂高校115名全員が貴重な体験ができるようにと、私たちが力をつくしていきたいと考えております。荒木地区委員からは書面もご用意いただきまして、これを読めばインターンシップについての重要なことがよくわかります。皆様ご理解いただけたと思います。ありがとうございました。渡部さんからは、ロータリアンとして、奉仕活動に向き合う体験学習であるという、大変貴重なご指摘もございました。私たちは、奉仕活動において他の人のために善きことをという気持ちことが先にたちますが、やはり自分自身が奉仕活動に酔って、体験し学ぶということで、自分自身も成長するということであり、生きていることの喜び、ロータリアンとして社会人としての喜びをその中から汲み取るということでもあります。貴重なご指摘だったと思います。奉仕活動についての意見を聞きますと、インターンシップについても赤坂 RC は代表としてしっかりやっていけるのではないかと意を強くした次第であります。

5. 協議会に参加して: 大日方ガバナー補佐、村山グループ幹事より貴重なご意見をいただきました。この内容と、馬場会員「姉妹クラブについて」、荒木会員「インターンシップについて」、渡部会員「社会奉仕活動のあり方」は、次週に続きます。